

いて力点をおいた話を踏まえ、発掘調査の経営、実際、保存整備の現状、遺構、遺物の保存科学的処理法、出土遺物の整理法から報告書作成にいたるまでの個別事例を交えて、講義が進められました。

アンケート調査の結果、概ね好評であったが、遺跡保存と文化財保護法についての講義は特に人気がありました。

また、飛鳥・藤原地域の遺跡保存整備状況を各自自転車で訪ね、発掘調査から保存整備状況を実感できたのも好評でしたが、見学箇所が少し多すぎて消化しきれない研修生もいたようです。今後の検討課題としたい。

(埋蔵文化財センター)

▲文化財関係研修の実施

埋蔵文化財担当事務職員一般研修

「埋蔵文化財基礎課程」終了

新世紀になって、平成13年度研修事業の第一弾として、5月8日から5月16日の日程で、事務職員を対象とした基礎研修をおこないました。

研修生は、北は北海道から南は熊本県にいたる総勢21名の参加でした。

研修の内容は、先ず遺跡保存と文化財保護法につ